

議長 休憩を解いて再開いたします。 (13時30分)

皆様に申し上げます。ただいま休憩中に議長の辞職願を副議長に提出いたしましたので、私に代わり副議長に議事進行をお願いしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。それでは、副議長と交代いたします。副議長、よろしくお願いいたします。

(副議長 議長席に着席)

副議長 これより私、副議長が議事を進行させていただきますので、よろしくお願います。

ただいま議長 飯田一君より、議長の辞職願が提出されております。

お諮りいたします。議長の辞職についてを日程に追加し、追加日程第1として直ちに議題とすることに異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

では、異議なしと認めます。議長の辞職についてを日程に追加し、追加日程第1として議題とすることに決定いたしました。お手元の議事日程に追加をお願いいたします。

副議長 では、追加日程第1「議長の辞職について」を議題といたします。

飯田一君に申し上げます。地方自治法第117条の規定により退場を求めます。

(飯田一議員 退場)

それでは、事務局長に辞職願を朗読していただきます。

議会事務局長 令和3年9月17日、松田町議会副議長 平野由里子殿。松田町議会議長 飯田一。

辞職願。このたび一身上の都合により令和3年9月17日付をもって松田町議会議長を辞職したいので願ひ出ます。以上でございます。

副議長 ありがとうございます。辞職願の朗読が終わりました。

お諮りします。飯田一君の議長の辞職を許可することに賛成の方の起立を求めます。

起立全員です。よって、飯田一君の議長の辞職を許可することに決定いたしました。

飯田一君の入場を許します。

(飯田一議員 入場)

飯田一君に申し上げます。あなたが提出された議長の辞職は許可することに決定いたしました。辞職の御挨拶をお願いいたします。

9 番 飯 田 皆さん、こんにちは。2年前、議員の皆様にご推挙いただき、議長に就任いたしました。ほとんどの期間がコロナ禍の中での活動でした。その間、議員の皆様へアドバイスをいただいたり、献身的な事務局に助けをいただいたりし、何とか任期の2年を全うすることができました。この場をお借りしまして、関係各位には感謝とお礼を申し述べさせていただきます。本当にありがとうございました。簡単ではございますが、退任の挨拶とさせていただきます。

副 議 長 ただいま議長が欠けました。お諮りいたします。議長の選挙についてを日程に追加し、追加日程第2として直ちに選挙を行いたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。議長の選挙についてを日程に追加し、追加日程第2として選挙を行うことに決定いたしました。